

東京工業大学環境・社会理工学院 教育施設環境研究センター 第16回学校建築シンポジウム

大地震発生時における 大都市に立地する学校の役割

東京工業大学
文部科学省
大田区
千葉大学

大佛俊泰
山下治
深川正浩
上野武

大地震発生時に、公立小中学校は地域の避難・復興拠点となる指定避難所、大学キャンパスは危険を回避する指定緊急避難場所としての役割を担ってきた。一方、大都市に立地する学校施設の場合、地域住民の人口をはるかに超える通勤通学者が帰宅難民となって押し寄せ、従来の想定では、対応が難しい状況が予想されている。

本シンポジウムでは、大地震発生時における「大都市に立地する学校の役割」について再考したい。首都直下地震時におけるシミュレーション、小中学校と大学キャンパスの異なる機能や工夫、日常からの学校と地域の連携を紹介する。

東京工業大学 教育施設環境研究センター長 大佛俊泰

日程 2018年2月16日(金)18:00 - 20:30

会場 東京工業大学 緑が丘ホール

東京都目黒区大岡山 2-12-1 緑が丘 6号館 1階

入場無料 日本語

主催 東京工業大学 環境・社会理工学院

教育施設環境研究センター

<http://www.rcef.gh4.titech.ac.jp/center/>

申込 氏名・勤務先・メールアドレスを明記の上
メールでお申し込み下さい。

東京工業大学 教育施設環境研究センター 岡(事務)

東京都目黒区大岡山 2-12-1 大佛研究室

TEL : 03-5734-3162

Email : oka.k.ah@m.titech.ac.jp

プログラム

趣旨説明、司会

斎尾直子(東京工業大学准教授)

第1部 話題提供

大佛俊泰(東京工業大学教授)

「首都直下地震発生時における避難所と一時滞在施設の
混雑度について」

山下治(文部科学省大臣官房文教施設企画部長)

「公立学校施設の防災機能の強化」

深川正浩(大田区企画経営部 施設整備課長)

「施設整備の立場から、公立小中学校の役割と整備方針、
帰宅困難者への対応」

上野武(千葉大学教授)

「大震災時の大学キャンパスの役割とは
～千葉大と千葉市の事例～」

第2部 フリーセッション

コメンテーター 加茂紀和子(名古屋工業大学教授)

小泉雅生(首都大学東京教授)



2018.2.16 金 18:00